

登録コード	A3591301		開講年度	2026			
授業科目	プレゼンテーション演習					担当教員	竹野 誠記
英文授業名	Presentation						
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ, 2 0 2 1 Aカリ, 2 0 2 0 Aカリ, 2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前カリキュラム対象】専門的な知識や研究能力を修得している					「自身の研究の問いの本質は何か」を正しく理解し、また、自身が得た結果について、何が既知で何が新規かを正しく位置付け、その意義をわかりやすく伝えることができる。	
	【2022年度以前カリキュラム対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					「自身の研究の問いの本質は何か」を正しく理解し、また、自身が得た結果について、何が既知で何が新規かを正しく位置付け、その意義をわかりやすく伝えることができる。	
	2 0 2 6 A3 編（24A）, 2 0 2 5 A3 編（23A）, 2 0 2 4 Aカリ, 2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前カリキュラム対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確な情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					「自身の研究の問いの本質は何か」を正しく理解し、また、自身が得た結果について、何が既知で何が新規かを正しく位置付け、その意義をわかりやすく伝えることができる。	
	【2024年度以前カリキュラム対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					「自身の研究の問いの本質は何か」を正しく理解し、また、自身が得た結果について、何が既知で何が新規かを正しく位置付け、その意義をわかりやすく伝えることができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本授業では、プレゼンテーションに必要なスライドやポスターの作製方法について解説する。また、各研究分野において、上級生のプレゼンテーションを聴講するとともに、4年次における研究計画の発表につながる論文の紹介を行う。						
(5)授業計画	1 プレゼン資料の作り方（資料配布） 2-15 他人のプレゼンテーションを聴講し、自分の担当回で、自分の研究分野に関連する論文について、スライド等を用いて発表する。 最後に授業アンケートを行う。						
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を勧める。また、各回で配付される発表レジュメなども活用して自主学習に役立ててもらいたい。						
(7)成績評価の基準	上記の【授業の達成目標】を許容水準で行うことができる力を備えていれば、合格水準（可）とします。						
(8)事前事後学習の内容	上記の【授業の達成目標】を達成できるように、日常的にトレーニングしてください。						
(9)テストやレポートの予定	なし						
(10)成績評価の方法	受講態度と、最終回に提出した課題に対する成果を総合的に判断して評価する。 具体的には、上記の【授業の達成目標】について、許容水準であれば60点、標準的達成レベルにあれば80点、理想的達成レベルにあれば100点とします。 評価基準は以下の通りです。[不可（0-59）, 可（60-69）, 良（70-79）, 優（80-89）, 秀（90-100）]						
(11)質問、相談への対応および連絡先	常時、受け付けます。						
(12)履修上の注意	出席が2/3に満たない受講者には、単位を認定しない。						
【教科書】	特に指定しない。						
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術-（酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術（宮野公樹著、化学同人）						